

UGSAS-GU NEWSLETTER

岐阜大学大学院連合農学研究科

2015年 12月

The 4th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2015

岐阜大学大学院連合農学研究科では、8月25日から27日にかけて、東南アジア・南アジア地域の6カ国15大学を招き、“The 4th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2015”を開催しました。海外のIC-GU12*加盟12大学に加え、今年は新たにモンクット王トンプリ工科大学(タイ)、チュイロイ大学(ベトナム)、バンドン工科大学(インドネシア)の3大学がオブザーバーとして参加しました。

初日には、岐阜市内のホテルで、加盟大学の農学・生物学研究科長等と本研究科を修了した研究者等が、IC-GU12の一環であるデュアルPhDディグリープログラムとサンドイッチプログラムの進捗状況、当コンソーシアムにおける活動報告、将来に向けた活発な意見交換を行いました。また、オブザーバー3大学のコンソーシアムへの加盟にも合意しました。

2日目には、海外のアカデミアで活躍する本研究科を修了した研究者等を講師とした生物・農学系研究シンポジウムを開催し、農学及びバイオテクノロジー分野の最新の研究発表を行いました。午前中の全体会では、各研究分野(食物・天然物化学、環境科学、微生物・生化学)を代表して3名の講師が基調講演をした後、上記3つの専門分科会にて



The 4th Roundtable 開会の辞

各6名の若手研究者による研究発表があり、より深い研究討論を行うことができました。その後、博士課程、修士課程の学生を中心としたポスターセッションを行い、33件のポスター発表の中から、優秀者4名にポスター賞を授与しました。



ポスターセッション

最終日の27日は、午前中にキャンパスツアー(附属病院、総合研究棟、附属図書館、保健管理センター、国際交流会館)を実施し、留学生の教育・研究・生活環境を視察しました。また午後は、インダスト

リー部会参加企業(本研究科職業人育成支援連携企業)である天野エンザイム株式会社岐阜研究所を見学しました。実験空間が広く、衛生面や安全面を重要視していることが伺えました。留学生からは、博士号取得学生の積極的な採用と海外のリサーチとマーケティングを期待したいなどの希望があり関心の高さが伺えました。

IC-GU12* : 岐阜大学の呼びかけで形成された「南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアム」の略称。



The 4th UGSAS-GU Roundtable 出席者

NEWSLETTER(電子版)

第4号発行にあたり

岐阜大学大学院連合農学研究科(UGSAS-GU)修了生、在学学生、教員の皆様、UGSAS-GU NEWSLETTERの第4号をお届けします。

本研究科は南部アジアの加盟大学12校(現在16校)と教育・研究連携のためのコンソーシアム(IC-GU12)を形成し、様々な活動を推進しています。特に、本年度は、年一度開催するラウンドテーブル&シンポジウムのほか、インドネシアのIC-GU12加盟大学スプラス・マレット大学における国際ワークショップの開催、生物環境科学の共同ラボステーションの開所式、研究インターンシップを目的とした学生の海外派遣、双方の大学教員の交流などを実施してきました。第4号では、このような活動を国内外で活躍する皆様に紹介し、本研究科のグローバル化に向けた新しい展開に対して貴重なご意見がいただければ幸いです。

岐阜大学大学院連合農学研究科長

千家正昭

トピックス

- The 4th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2015
- 第2回国際ワークショップ
- 研究インターンシップ報告会 (第5回連合農学研究科セミナーより)
- Reviews in Agricultural Science 誌
- 連合農学研究科 学位授与式
- 連合農学研究科 入学式
- 平成27年度代議員会委員紹介

第2回国際ワークショップ（インドネシア：ソロ市）

11月30日・12月1日の2日間、大学のグローバル化の推進と現地産業界との交流を推進することを目的として、今年度は「生物環境科学」をメインテーマとして、インドネシアで『第2回国際ワークショップ』を開催しました。

初日はソロ市内にあるパラゴンホテルで国際ワークショップを開催し、研究科紹介を始め、平松研教授、大西健夫准教授、広田勲助教3名の研究紹介を行いました。その後、スブラス・マレット大学(UNS)の研究紹介、地元企業であるExperimental Stations for Riversの企業紹介を行いました。総勢110名ほどの参加者は、熱心に講演に耳を傾け、意見交換も活発に行われました。その後の情報交換会では、UNSの修士生、研究者や地元企業とが意見交換を行い、グローバル化促進の交流の場となりました。なお、このワークショップはUNSの協力及び小川科学技術財団の支援を受けて開催されました。

2日目は、砂糖精製工場のRG.Tasikmadu Karanganyarを訪問し、会社説明の後、砂糖が精製されるまでの工程についてビデオによる紹介と、工場内の視察を行いました。また、この日はUNSにおいて博士課程学生によるBilateral Seminarが開催されており、神谷卓男(D2)さんと伊藤弘樹(D1)さんが、PT.Great Giant Pineapple（ランボン州にあるパイナップルの大規模農園）での研究インターンシップ報告を兼ねて研究報告を行いました。

午後は、UNS内に設置された岐阜大学オフィス及び共同実験室の開所式を開催しました。サマンディ教授（農学部副学部長）と千家研究科長によるテープカットの後、本研究科が購入した実験装置等の確認を行いました。この共同実験室は、UNSのデヴィ准教授（岐阜大学客員准教授）の管理のもとIC-GU12加盟大学の教員と学生に開放し、環境科学関連の研究拠点として整備が進んでいます。

研究インターンシップ報告会（第5回連合農学研究科セミナーより）

6月16日の第5回連合農学研究科セミナー（参加者41名うち学生17名、教職員18名、企業参加者6名）において、研究インターンシップ報告会を行いました。本研究科の授業科目「研究インターンシップ」として2名の学生が履修しました。ベン・オスマン・サナさんは、インドスリー部会参加企業の一丸ファルコス株式会社での研修について、普段研究室で体験できない企業独自の研究室や機械の説明を受け、企業の方々にとっても優しく受け入れて頂いたこと等貴重な体験であったことを報告しました。また、フオーニー・インダー・ムティアラさんは、IC-GU12加盟大学のアンダラス大学での研修について、現地の人々への聞き取り調査を自身の研究にどのように役立てることができるかについて報告を行い、研究インターンシップの意義と成果を十分に発表し、有意義な報告会となりました。



連合農学研究科 学位記授与式



3月13日、岐阜大学講堂において、平成26年度学位記授与式が挙行されました。授与者数は10名（うち留学生5名）でした。なお、在学期間中に極めて優秀な学業成績を挙げ、高い評価を受けた1名に学長表彰が授与されました。また、9月24日、同講堂において、平成27年度秋季学位記授与式が挙行されました。授与者数は2名（うち留学生2名）でした。さらに、3月31日及び12月25日に各1名に対し、学位記を授与しました。

連合農学研究科 入学式



4月10日、岐阜大学講堂において、平成27年度入学式が挙行されました。入学者は15名（うち留学生7名）でした。

また、10月1日、岐阜大学連合大学院研究科棟合同ゼミナール室において、平成27年度秋季入学式が挙行されました。入学者は7名（うち留学生7名）でした。

平成27年度代議員会委員紹介

研究科長：千家 正照（岐）
研究科長補佐：中野 浩平（岐）、安村 基（静）、光永 徹（岐）
委員：土井 守（岐）、水永 博己（静）、上野 義仁（岐）、大野 始（静）、平松 研（岐）、西津 貴久（岐）、小川 直人（静）
（岐阜）・・・岐阜大学（静）・・・静岡大学



Reviews in Agricultural Science

平成24年10月1日より、本研究科が発行する電子ジャーナル“Reviews in Agricultural Science”をWeb上で公開しています。下記URLにアクセスしてご覧いただけます。

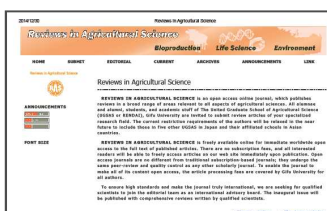
<http://www.agrsci.jp/ras/>

また、現在、最新版VOL.3(2015)が掲載されています。

<http://www.agrsci.jp/ras/issue/view/4>

皆様からのご投稿をお待ちしております。

なお、編集委員会は、岐阜大学 森誠客員教授を編集委員長とし、全国6連合農学研究科専任教員及び岐阜連大の代議員会委員を委員として構成されています。



問い合わせ先

岐阜大学 連合大学院事務室
連合農学係

〒501-1193

岐阜県岐阜市柳戸1-1

Tel : 058-293-2984

Fax : 058-293-2992

E-mail : ugsasnet@gifu-u.ac.jp

連合農学研究科ホームページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~rendai/>